

令和 3 年 4 月 16 日

教 育 長 様

(※受付番号 )

代表者 校 園 名 : 大阪市立今市中学校  
 校 園 長 名 : 赤坂 寛臣  
 電 話 : 06-6952-0371  
 事 務 職 員 名 : 糺谷 龍太  
 申 請 者 校 園 名 : 大阪市立今市中学校  
 職 名 ・ 名 前 : 首席 中村憲司  
 電 話 : 06-6952-0371

研究コース
研究テーマ指定 S
校園コード (代表者校園の市費コード)
682513

令和 3 年度 「がんばる先生支援」 研究支援 申請書

◇本研究の支援を受けたく、次のとおり申請します。

1	研究コース	コース名	研究テーマ指定 S	研究年数	継続研究 (2 年目)
2	研究テーマ	<p>学力向上に資するカリキュラムマネジメントの研究            ～教科横断的視点を活かした今市カリキュラムの構築～</p>			
3	研究目的	<p>テーマに合致した目的を端的に記載してください。            ○教科横断的視点を活かした教育実践            ○リーディングスキルに関する研修の充実            ○今市カリキュラムの構築による「学び続ける教員・生徒」の育成            ○学力向上のための各教科における「主体的・対話的で深い学び」を促す授業研究            ○授業研究による研究員の授業力向上            ○先進的研究校への研修会参加を通じた指導力の向上            ○研究成果の発信、他校教員の授業力向上への支援</p>			
4	研究内容	<p>継続研究は、前年度の成果と課題を分析した内容を踏まえて記載してください。            昨年度、同テーマに基づき、リーディングスキルや新聞教材の活用を中心とした教科横断的視点を基に、学力向上のためのカリキュラム構築へ向けた素地を築くことができた。とりわけ、文部科学省が示す「子どもたちに関する各種データに基づいたPDCAサイクル」の重要性を踏まえ、リーディングスキルテストを通じた科学的な学力分析を行うとともに、各教科における読解力向上への有効な指導法に関する研修を行うことで、その課題と成果を共有でき、教職員一人ひとりの意欲や指導力を図ることができた。その他、新聞教材の活用や学習環境の充実等にも取り組むなど、学校総体としての学力向上へ取り組んだ本研究は、研究発表会および大阪市教育センターの「リーディングスキル講座」にて報告し、本市教職員の指導力向上に貢献したと考えている。</p> <p>以上の成果を土台とし、さらなる組織的な研究へと充実させるため、今年度に取り組む研究の内容を以下に示す。</p> <p>1、新学習指導要領における「主体的・対話的で深い学び」の実現を通じた学力向上            (1) 学力向上に資する指導法充実のため、リーディングスキルテストを受検させ、子どもたちの読解力を科学的に分析する。(1年生は今後3年間を見通した分析のため、2年生は昨年度との比較を踏まえた定点分析のため、3年生は昨年度からの経年比較のため受検する。)            (2) 教科横断的視点から、国語科、社会科が先行しつつ、理科や数学科も加えて、リーディングスキル及び新聞教材を活用した授業実践や研究を行い、読解力を高める。            (3) リーディングスキルに関わる研究を全教科で行うとともに、各種テストでリーディングスキル問題を開発し、生徒の状況に応じて指導法や評価法の改善を含むPDCAサイクルを構築する。            (4) 学力向上委員会での検証を踏まえ研究発表会で成果を発信することで、本市の「子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組」のより一層の推進に貢献する。</p> <p>2、今市中学校独自の「今市カリキュラム」の研究            (1) 各教科固有の学びを前提にしつつ、どの教科でも読解力向上のための指導場面を創出することで、統一した意識の下、指導するスタイルを確立する。            (2) 図書館利用、放課後学習会の活性化(タブレット設置による自主学習環境の整備、地域人材の活用、開かれた図書館づくり)を推進する。            (3) 地域とのつながりを深める取組を推進する。            1年生－旭区地域調べ学習 2年生－職場体験学習 3年生－職業講話</p>			

5	活動計画	<p>日程や内容など、研究の過程がわかるように詳細に記載してください。</p> <p>○5月 研究テーマ・目的・内容・見込まれる成果等の検討</p> <p>○6月 新学習指導要領およびカリキュラムマネジメントに関する研修の実施 新学習指導要領実施にともなう教育環境の変化を踏まえ、「主体的・対話的で深い学び」の実現へ向け各教科での活かし方等についての見通しを持つ。</p> <p>○6月～2月 大阪市教育センター主催の「言語能力向上講座」へ参加 リーディングスキルそのものへの理解と共に、他校をはじめ、他地区における実践や取り組み等を、幅広く収集し、自校への教育活動に活かす。</p> <p>○6月～3月 各教科における授業実践、フィードバックの実施</p> <p>○6月～3月 リーディングスキル測定のための教材および問題開発とその活用</p> <p>○6月～3月 校内授業研究会の実施（最低2回は実施）</p> <p>○6月～3月 地域人材を活用した放課後学習会の随時開催、図書館の有効活用</p> <p>○公開授業研究会の実施 研究成果・課題について協議し改善方法を検討</p> <p>○2月 研究のまとめ・研究成果の発信</p>
6	見込まれる成果とその検証方法	<p>大阪市教育振興基本計画に示されている、<u>子どもの心豊かに力強く生き抜き未来を切り開く力の向上</u>および<u>教員の資質や指導力の向上</u>について、見込まれる成果を端的に記載し、その成果について、客観的な指標により必ず数値で示すことができる検証方法を記載してください。</p> <p>【見込まれる成果1】 リーディングスキルの活用や教科横断的視点に基づく授業実践の充実を図ることを通して、子ども一人ひとりの学力の向上を図る。</p> <p>《検証方法》 大阪府中学生チャレンジテストにおける本校平均点と大阪府平均点との差を、1ポイント以上上回る。</p> <p>【見込まれる成果2】 各教科における読解力向上への統一した意識の下、各教科間の関連を図る指導スタイルを確立するとともに、地域人材を有効に活用することを通して、総合的な学力向上策の充実を図る。</p> <p>《検証方法》 指導者アンケートを実施することにより、「他教科との連携を意識し授業を展開することができた」の項目、および「多様な教育活動が総合的な学力向上に貢献したと考える」の項目で肯定的回答を9割以上にする。</p> <p>【見込まれる成果3】 新聞教材やICT機器の活用等、多様な指導法を工夫するなど、各教科における「主体的・対話的で深い学び」を追求し、実践することを通して、子ども一人ひとりの主体的に学習に取り組む態度の育成を図る。</p> <p>《検証方法》 大阪府中学生チャレンジテストにおける短答式、記述式問題の本校平均無解答率と大阪府平均無解答率との差を、マイナス2ポイント以内にする。</p>

研究コース

研究テーマ指定 S

代表校校園コード

682513

代表校園

大阪市立今市中学校

校園長名

赤坂 寛臣

6	見込まれる成果とその検証方法	<p><b>【見込まれる成果4】</b> 研究発表会参加者の満足度を高め、本校における研究の成果を広く周知し、本市教育の充実に貢献する。</p> <p>《検証方法》 参加者アンケートを実施することにより、「本研修が所属校園の教育活動に貢献した」の項目で肯定的な回答を9割以上にする。</p>				
		<p><b>【見込まれる成果5】</b> 各種研修会・校内授業研究会を複数回実施し、本校所属教員の授業力向上を図る。</p> <p>《検証方法》 参加者アンケートを実施することにより、「本研修が教科指導力向上に貢献した」の項目で肯定的な回答を9割以上にする。</p>				
7	研究成果の共有方法	<p>◆研究発表【必須】 <u>報告書提出日（令和4年2月25日）までに必ず行ってください。</u></p> <p>○研究発表の日程・場所（予定）</p> <table border="1"> <tr> <td>日程</td> <td>令和 4 年 1 月 28 日</td> <td>場所</td> <td>大阪市立今市中学校多目的室</td> </tr> </table>	日程	令和 4 年 1 月 28 日	場所	大阪市立今市中学校多目的室
		日程	令和 4 年 1 月 28 日	場所	大阪市立今市中学校多目的室	
<p>◆代表校園HPでの共有【必須】</p> <p>他の共有方法を計画している場合は記載してください。</p>						
8	代表校園長のコメント	<p>昨年度の研究は、リーディングスキルをはじめとした教科横断的な視点をもとに行ったことで、学力向上に関する教職員の意識の高まり、指導力の向上につながった。それまで過去3年にわたる本校の学力水準が大阪市平均を下回る結果が続いていたが、教科によっては平均を上回るなど、成果となって表れている。また研究の一端を大阪市教育センター主催の研修にて発表を行うなど、本市教育へも貢献できた。</p> <p>2年目の今年は、本申請を飛躍のための研究として位置づけ、学校総体としてのチーム学校を舞台に、今市中学校独自の「今市カリキュラム」構築へ向け、さらなる指導力の向上と子ども一人ひとりの学力の向上を目指す。</p> <p>とりわけ学力を構成する読解力に引き続き注目し、その効果的な指導の在り方について教科の枠を超えて学び合う予定である。特にリーディングスキルの研究では、昨年度の成果を踏まえ、より実践的な指導法の確立を目指し、本市教育に貢献したい。また、新聞教材の活用や、関心・意欲を高める学習環境の整備等、教科横断的な視点による指導も継続しながら、学校づくりを行い、新たなモデルの一つとして提示したい。将来的には、この研究を深化、充実させ、本校のみに留まることなく、大阪市教育振興基本計画に示す「子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組」のより一層の推進にも貢献できるものとした。</p>				